

## 正和会視察報告

報告者：小林貢

【開催日】令和7年8月28日(木)

【場所】エスコンフィールド北海道

【参加者】佐藤弘治、仲間正司、森田哲哉、

山崎貴裕、小林貢、小澤芳輝、

武藤政義、清水義朋

エスコンフィールド北海道は、北海道北広島市の北海道ボールパークFビレッジ（複合施設）の中核をなす、日本初の開閉式屋根付き天然芝の球場である。

敷地面積約 32 ヘクタール。

天然芝の育成を促すため、球場の南側には高さ約 70 メートル、幅約 180 メートルの巨大なガラス壁が設けられている。

北海道日本ハムファイターズの本拠地であり、3万5千人を収容することができる。

野球観戦だけでなく、宿泊施設、温泉、レストラン、ショップなど多様な設備を備え、試合の有無にかかわらず、楽しめる施設となっている。

球場では、選手を間近に見られる席やスイートルームなど、多彩な座席や観戦スタイルを提供している。

自然と調和のとれた場所への建設及びデザインとなっている。



## 【所感】

エスコンフィールド北海道の最寄り駅は北広島駅である。それほど大きい駅ではないが、ドーム型の光を取り入れた通路や横断幕、「敷地丸ごと、リビングだと思ってお過ごしください。」



「320,000 m<sup>2</sup>には収まらないほど、憩いがある。」「最低でも3回は来て欲しい。いや、来たくなる絶対。」などのデジタルサイネージはアットホームな気を引くメッセージであり、来場者をソフトに歓迎していることに感心した。また、スクリーンには清宮選手の紹介など、日本ハムファイターズの球場であることを印象付けるものであった。

エスコンフィールド北海道へ行く交通手段は、北広島駅からバスまたタクシーとなる。徒歩でも行けなくはないが、30分程度を要する。

建物は自然を活かし、広々とした空間に建設されており、球場内には商業施設や飲食店、子どもから大人まで楽しめる遊び場や体験施設が設置されている。

訪問した日は平日の午後であったが、球場を活用した催し物や建設過程を紹介するスペースがあり、試合が無い日であっても活用され、大勢の来場者を得ている。

広大な自然を活かした施設の維持・管理・運営には、多くの雇用や経済効果をもたらしているものと考ええる。

福生市にこのような施設をとはいえ考えにくいだが、集客効果に伴う経済効果や雇用の確保効果など、地域の活性化を考えるうえで参考となった。

以上報告いたします。